

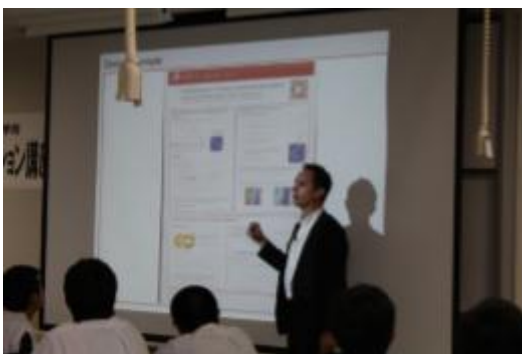
# 平成 27 年度 SSH 活動記録のページ

## 平成 27 年度 11 月 SSH 活動記録

平成 27 年度 11 月の球陽高校 SSH の取り組みを紹介します。

### 2015. 11. | OIST 科学英語プレゼンテーション講座

11 月 17 日(金)の 5,6 校時に、沖縄科学技術大学院大学(OIST)大学専属講師による英語プレゼンテーション講座が実施されました。球陽高校 2 年理数科は、SSH 探究Ⅱの研究内容を科学英語の授業で英訳します。今回は英訳して作成したポスターをどのように発表するかを教えていただきました。相手を引きつけ、興味を持ってもらうことが大事など、心構えの基礎的な部分から教えてもらうことができました。もちろん今回も英語での講座でしたが、日本語も交えての説明でしたので、生徒は十分理解することができていたようでした。



### 感想

- ・プレゼンテーションのときは、相手にきちんと伝わるようにジェスチャーやアイコンタクトが必要なことがわかった。緊張をほぐす方法も考えてみればたくさんあったので、実践したいと思った。
- ・グループでやる活動もあってとても分かりやすかった。講師のプレゼンテーションも英語と日本語だったけど、ゆっくりだったので理解しやすかった。
- ・ポスターが大事じゃない。あなた自身が大事だ。Q&A に対しての質問に対する答え方や、ポスターの内容だけでなくジェスチャーや表情、相手とのアイコンタクトは

さらに大事だということが分かった。

・棒立ちが1番悪いこと。アメリカ人は発表しないと分かってないと思われる。声を大きく smile!!

・やっぱり外国人は表情豊かで話すリアクションも大きいので聞き入ることができる。これは見習いたいと思った。一番大切なことは相手を飽きさせない！楽しませることだと思った。



## ■ 2015. 11. | 気象予報講座

### 球陽、普天間、美里中 3校合同！

11月21日(土)の午後、球陽高校地学室にて、球陽高、普天間高、美里中の3校合同の気象講座が行われました。講師は日本トランスオーシャン航空株式会社の高安気象予報士です。気象庁のレーダーナウキャストなどの紹介や、なぜ気象予報士を取得したかなど、様々なことを教えて下さいました。前線の実験や、1週間の天気を天気図を見ながら予想して発表するなど、生徒達が主体となる活動もあり、楽しく気象予報について勉強している様子でした。



### 感想

・元々気象などに興味があって、データなどから1週間の天気を予想したりするのは楽しかった。講師高安先生が「気象の基本は、まずその日の空を見ることから」ということだったので、毎日やっていきたい。

・今日の講座で、予報士が天気を予報するのにどんな点に注目して予報してるのかが分かったし、実際の天気との差をくらべるのもおもしろいと思いました。今後も、気象についてもっと勉強して将来気象にかかわる仕事をできるようにがんばろうと思います。

・ホームページにレーダーがあると知っていても、読み取ってそこから分析をするという方法が分からない所もあったので、今回の講座はととてもためになりました。今日、習ったことを生かしながら、これからは毎日天気予報をチェックするようにしたいです！！

---

## 2015. 11. | 東京つくば研修！①

11月9日~13日の間、2年理数科は東京つくば研修に行ってきました！大学訪問や研究室訪問、自主企画研修などさまざまな行程がある中で、生徒達は科学的に対する興味関心が高まったようでした！JAXA や NIMS など最先端の研究施設で難しい説明もあったようですが、ここでしか聞けない話や体験ができ、生徒達は貴重な体験をしてきました！今回は写真で様子を紹介します！



(中略あり)

・JAXA、理研は中々行くことのないイイ機会だったのでたくさん吸収しました。初めて見るロケットや、宇宙ステーションの模型は迫力がありました。

・3日目には筑波大学に行きました。私にとって初めて行く県外の大学だったので、多くの刺激を受けました。よく「大学に入るのがゴールではない」ということを聞きますが筑波大の学生さんたちはまさにそうだと思います。メリハリのある楽しいキャンパスライフを送っていて自分もこういう大学生活を送りたいと思いました。

・自分が将来沖縄を離れて内地で暮らすときに大切なことなどを学びました。そのうちの1つが電車の乗り方です。沖縄には無い移動手段の電車は結構複雑で、最初は戸惑いながら時間をかけて確認しないと不安だったが、みんなで考え合ったり、周りの人に聞いたりして電車を乗りこなせるようになりました。

・施設見学では、ごく普通に生きていたなら私は全く興味をもたなかったであろう様々な施設を見学でき、自分の興味の範囲がいかにかせまいものか思い知らされました。

